

東北の国土は私たちが守っていく



東測協だより

Vol. **9**
2018

Contents

- ・会長あいさつ
- ・委員会活動報告と今後の抱負
- ・フレッシュさん紹介

私達の理念

「東北に根差し、地域に責任を持ち、期待される協会」

残雪の月山と山形自動車道



一般社団法人 東北測量設計協会

Tohoku Survey & Planning General Inc. Association

会長あいさつ



会長 佐藤 和 昭

平成30年5月の通常総会で新任の会長に就任しました佐藤でございます。

当協会は東北管内に本社を置く企業、会員数61社職員総数3,611名で構成されています。

東日本大震災から7年が経過し「復興から創生」へと取り組みが推進されています。また、激甚化する水害・土砂災害などに備えるための防災・減災対策やインフラの老朽化対策、「東北圏広域地方計画」に基づく日本海側、太平洋側を結ぶ高速ネットワークの構築などが推進されようとしています。

当協会は、品質向上、技術力向上を目的に講習会を実施し、業界全体のレベルアップを目指すとともにi-Construction活用による生産性の向上を図る為、三次元測量への取り組みを推進していきます。

また、CIMによる三次元成果については、対応できるものから取り組んでいくことが必要と考えています。

加えて「担い手の確保・育成」のための労働条件等の改善への取り組みと、学との連携による土木の魅力発信を継続し、若手技術者の積極的な採用と中長期的な視野での教育・育成を展開して参ります。

「働き方改革」については、受発注者相互の情報の共有や協議の迅速化、効率化などを行い、手戻りがないように意識する事が重要と考えており、また、安全管理・健康管理にも積極的に取り組んで参ります。

近年、東北地方整備局の当協会の活動に対するご理解を賜り、要望も実を結んできております。

また改正品確法において「地域の災害対応」が重要、「地域の維持管理」の役割が必要と位置付けられ、当協会の責務と考えており、「東北の国土は私たちが守っていく」のスローガンのもと、コンプライアンス遵守はもとより、発注者と共に地域の安全・安心で活力ある地域づくりの一助となるべく研鑽していく所存でございます。

今後とも、当協会の活動にご理解を頂き、会員企業に対しまして変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



委員会活動報告と今後の抱負

技術委員会

平成29年度事業も会員企業の皆様はじめ関係機関の方々の御協力により、無事終了する事が出来ました。UAV保有状況調査、労働災害事故事例調査に始まり6月「CIM導入研修会」、8月の「総合評価及び品質向上講習会」、東北土木技術人材育成協議会「UAV基礎技術講習会」、11月には「技術士試験基礎対策講習会」更には「安全衛生講習会」、「安全大会」と盛りだくさんの内容で活動を進めました。加えて本年度は「道路調査設計ノウハウ集」の編纂委員として当委員会が路線測量編を担当しました。

○ 技術士試験基礎対策講習会

- ・平成29年11月16日 CPD:3ポイント
- ・場 所：ハーネル仙台 11社15名参加
- ・講 師：(株)5Doors' 代表取締役 堀 与志男 様



例年開催している技術士受験講座で、本年度も堀先生をお迎えして、「試験制度の概要」、「業務経歴票の書き方」、「択一式対策」、「記述式対策」の4大項目からなる内容でご講義を頂きました。試験制度から始まり、前年度の傾向から今年度の傾向や具体的な業務経歴票の書き方について説明がなされ、更には受験対策の勉強法についても指導を受けることが出来ました。東北の各地から多くの技術士の誕生を期して、本講座を受講なされた方々の合格を祈念しております。

○ 安全大会：安全衛生講習

「職場のワークライフバランスと働き方改革」

- ・平成30年2月23日
- ・場 所：ハーネル仙台 58社92名参加
- ・講 師：(公財) せんだい男女共同参画財団
専務理事 岩淵千代子 様

職場における働き方を見直すべく、国を挙げて「働き改革」が推し進められている中、我々業界でもワークライフバ

ランスの確立が求められております。このような背景に鑑み、全員協議会における安全大会に於いて働き方改革の意義とワークライフバランスの考え方を学ぶべく、(公財) せんだい男女共同参画財団の岩淵専務様をお招きして開催いたしました。特に経営陣が多く参加する全員協議会での開催は意義あるものとなりました。



○ 安全大会：安全宣言

- ・平成30年2月23日
- ・場 所：ハーネル仙台
- ・宣言者：(株)双葉建設コンサルタント 海藤 剛 様



(株)双葉建設コンサルタント代表取締役海藤剛様より、労働災害撲滅に向けた力強い安全宣言をいただきました。我が産業から労働災害が無くなることを切に望むものであります。

○ 終わりに

平成29年度も多くの事業や研修を全うする事が出来ました。特に近年は東北地整や大学、他団体より技術的なオファーが多く届き、技術委員会の活動も盛沢山となっております。このような中、技術委員会のメンバーは一人丸となって、社会的貢献に努め東測協の技術力の高さを周知させるべく活動していただきました。本誌面をお借りして、委員会メンバーに心よりお礼申し上げます。会員の皆様におかれましては、今後とも技術委員会の事業にご協力をお願いいたします。

委員長 菊池 透

■ 平成30年度方針



技術委員長
海藤 剛

H30年度より技術委員長を仰せつかった海藤です。菊池委員長の後の委員長職ということで非常に緊張をしておりますが、任期期間中頑張りますのでよろしくお願いいたします。

さて、時代の変化はスピードを増し続け、当業界にもその波が押し寄せております。多様な入札契約方式への対応やCM業務、ICT、CIMをはじめとする生産性の向上など我々に課せられた技術的課題は数多くあると考えています。

技術委員会では、それらの課題に対する数多くの技術講習会を開催いたします。今現在計画しているものとして「UAV基礎技術講習会」、「総合評価及び品質確保に関する講習

会」「ICT・CIM研修会」、「技術士基礎対策講習会」、「現場研修会」、「安全大会」があります。是非多数のご参加をお願いいたします。

また、対外的な活動として昨年から始まった「東北土木技術育成協議会」の講師派遣や東北各地で依頼があった場合に「安全講習会」などに講師を派遣する事業を行います。

さらに、当協会にある技術を意見交換会の場で紹介するためのデータの収集のための「UAV保有調査」や労働災害撲滅を目的とした「事故事例データ」の収集など会員企業に有益な情報を提供してまいりますので、是非ご活用頂きますようお願いいたします。

展開していく事業は多いですが、副委員長と委員の皆様と楽しみながら委員会活動をしていこうと思っています。何卒よろしくお願いいたします。

■ 企画委員会

大学等との連携事業では、地域建設コンサルタントの役割や担い手確保を目的に現場最前線の講義を展開しております。また土木学会80周年記念事業展示会に出展し、広く市民へのPR活動を行い、将来の土木技術者発掘の種をまきました。

さらに会員各社の人材育成として新たに次世代セミナーを開催し最終4回目が無事終了いたしました。

○ 土木学会80周年記念事業展示会

・平成29年11月25日（土）

・協力会員：(株)サトー技建 加藤 一也氏 伊藤 浩一氏
遠山 篤氏 岩本 春男氏
千葉 祐輔氏

（公社）土木学会東北支部設立80周年記念事業として多賀城図書館にて「どぼく+展示会」が企画され、当協会では「建設IoT」の展示を担当しました。



○ 次世代セミナー

・平成29年12月1日（金）

最終第4回次世代セミナーを開催、中堅社員としての人材育成総括を行いました。各社に戻ってからの活躍が期待されます。



○ 大学等との連携事業

● 福島高専建設環境工学科3年生

・平成29年12月5日（木）

・講師：昭和技術設計(株) 鈴木 康成氏
石澤美智春氏

・「土木の資格と魅力」と「最新の測量技術」をテーマに講義を行いました。

● 福島高専建設環境工学科3,4年生

・平成29年12月15日（金）

・講師：(株)東コンサルタント 根本 卓也氏
柴田 愛美氏

・「地域コンサルタントの役割」をテーマに講義を行いました。

●日本大学工学部土木工学科3年生150名程度

- ・平成29年12月15日（金）
- ・講師：昭和技術設計(株) 朝倉 優介 氏
石澤美智春 氏
- ・「最新の測量技術紹介」をテーマに講義を行いました。



○会社経営研修会

- ・平成30年2月23日（金）
- ・講師：東北地方整備局 企画部長 渡邊 泰也 氏
- ・内容：最近の話題と展望
- ・参加者：57社 92名



■ 継続するにあたり



企画委員長
鵜沼 順之

留任の鵜沼順之と申します。昨年は「次世代セミナー」を初めて試みました。各会員の中堅層をターゲットに、参加者共通の課題をテーブル単位で共有あるいは解決のヒントを会社の垣根を越えて討議するもので全4回を同一メンバーで実施しました。

各テーブルから上げられたテーマはほぼ想定内でしたが（人材育成、資格取得、担い手確保、自社PRなど）、それぞれ即効性の解決策は見いだせなかったものの会社規模や主たる工種や営業エリアが異なっている、抱える悩みは同じであることが再確認出来ました。こうした背景からか参加者にとって自社だけの悩みではなかったとホッと感じた方も多く、対応策案の討議ではとても白熱し

た様子でした。テーブルメンバーを固定したことで2回目以降は開始早々それぞれのテーマで深掘り出来たこと、また反省点として事前に参加者ニーズ（取扱いテーマ）をもっと汲み取れば短時間でも効果的に進められたと感じました。

私が最も達成感を実感したのが懇親会です。商圏がある程度離れることによって利害関係が若干薄まり本音トークを引き出したのではないのでしょうか？もちろん企業秘密やコンプライアンスもあるのでその辺は十分に配慮して進めましたが、社外に良きライバルや相談相手を持てるということは中堅社員として貴重な財産になったことでしょう。

今年度も継続して実施します。企画委員会では担い手確保に対して学校関係との素敵な関係構築をはじめ広報分野を担当します。世の中のあらゆるものが信じられないスピードで変化し、小が大を呑みこんでも全く驚かない時代に入っています。継続するものと辞めるもの新設するものを意識しながら任期を全うしたいと思います。ご指導のほどよろしくお願いします。

補償業務委員会

下半期の活動として平成30年2月8日（木）、9日（金）の2日間に渡りハーネル仙台にて補償業務管理士講習会を開催し、17社24名のご参加をいただきました。

1日目に東開技術株式会社の千葉肇様を講師として「用地事務概論及び損失補償の法理と補償制度」、エイト技術株式会社の小西久夫様を講師として「不動産に関する行政法規」、株式会社田村測量設計事務所の北野忠雄様を講師として「用地調査等共通仕様書等」を、2日目に株式会社都市整備の栗澤博士様を講師として「一般補償基準」、株式会社みちのく計画の齋藤邦男様を講師として「土地収用法」、株式会社ウヌマ地域総研の田中政行様を講師として「公共補償基準」の計6題について問題と解答を事前に作成の上で講義をいただきました。

本講習会は補償業務管理士試験の試験対策という位置付けで毎年開催しているものであり、当日の資料も当協会が準備した問題集・回答集と共通仕様書に加えて、持参いただいた資料も7冊の書籍に及び、非常に広い範囲の知識が要求される試験と言えると思います。それだけに本番の試験の2ヵ月前に本番を想定した問題により知識の整理が出来ることは講習会として大変有意義なものとなったものと自負しております。

また、本講習会においても一般社団法人日本補償コンサルタント協会のCPDシステムに対応しプログラム登録をしており、CPDポイントは10ポイントとなっています。今後とも会員企業の補償技術者の登録更新時に必要なポイント確保と発注者からの評価に資するよう漏れなくプログラム登録を行っていく予定です。

今回受講された皆様が今年度以降の試験のチャレンジに本講習会で得たものを活かしていただくとことを祈念します。

委員長 田村 道雄

■ 補償業務委員長の拝命を受け



補償業務委員長
阿部 忠宏

補償業務委員長を拝命の阿部忠宏です。補償業務委員会に席を置いたのは平成11年、かれこれ17年間この補償業務委員会で活動してまいりました。

さて、補償業務委員会の活動内容は、二つあります。まず補償実務講習会は、起業者のよきパートナーとして公共事業を円滑

に進めるための補償業務の知識向上を目的とした講習会です。これについては、土地評価について行っております。もう一つは、補償業務に携わるうえで必要となる資格で、補償業務管理士は8部門あります。その第一歩となる共通試験です。

これら講習会の講師は、公共用地の知識と経験が豊富な直轄OBの方を講師として行っております。また、補償業務管理士講習会においては、毎年公表される共通試験の出題傾向に合わせて、各講師の方が想定の問題を作成し、回答解説して受講した者が一人でも多く合格し、補償業務の従事者の拡大を図りたいと考えております。

補償業務委員会では、更なる技術の研鑽と新たな補償業務に関する課題を見つけ講習会に反映させて行きたいと考えております。

■ 総務委員会

総務委員会担当の主たる事業である、東北地方整備局企画部並びに各県事務所長との意見交換会が、全7か所で開催されました。(9月4日(月)東北地方整備局企画部、10月10日(火)岩手、23日(月)青森、11月16日(木)山形、27日(月)宮城、29日(水)秋田、12月11日(月)福島)

意見交換会では、地域コンサルタントの受注率が減少していることを踏まえ、県内本店要件による地域コンサルタントへの発注量の増加を中心に要望させて頂きました。単価の引き上げ、若手技術者の活用など、毎年我々の要望を受け入れて頂いている現状を鑑みれば、意見交換会を通しての要望活動はとても重要な事業であると考えております。今年度は、さらに県内本店要件での発注が増加することと思います。この期待に応えられるよう、会員各社の積極的な参加を切にお願い申し上げます。

2年間ではありましたが、総務委員長を務めさせていただき、多くの方々にご協力を頂きましたこと心から感謝申し上げます。引き続き協会発展のためにお力添え賜りますようお願い致します。

委員長 伊藤 清郷



■ 新任の総務委員長として



総務委員長
田村 道雄

この度、平成30・31年度の総務委員長を仰せつかりました田村道雄です。思いがけなくも総務委員長という大役をいただくことになりましたが、新たに会長になった佐藤会長を支え佐藤丸の船出にあたって甲板長として航海を支えて参りたいと考えているところです。

総務委員会は、例年同様に東北地整と各県事務所長との意見交換会に供する要望書のとりまとめを担当しています。これは会員の東北地方整備局からの受注に直接影響し、また要望内容の相当部分を採用していただいたこともあり、熟慮した事項を真摯に説明することで、さらなる実現に寄与していきたいと考えております。加えて今年度は会員の退会や全体受注額の減少により会費収入も減少しており、対応策として決算細目について事業別の積算を行い検証したいと考えています。これは単なるコストカットとして行うのではなく、より効率的な予算執行に資するべく企画委員会と連携し様々な手法を検討して参りたいと考えております。

もとより浅学非才の身でもあり、会長・副会長のご指導と総務委員の皆様のご協力、さらに会員皆様のご理解をいただきながら任期を全うしたいと意を新たにしているところです。何卒よろしくお願い申し上げます。



昨年度、会員社で新たに社会人となった方々に
1年間過ごして感じたことなどを伺いました。



(株)みちのく計画

設計技術課

津嶋 祐香 (20)

Q この会社を選んだ理由は？

A 私は工業高校で学んだことを地元で活かしたいと考え、出前講座やインターンシップを通して、外業・内業問わず女性が多く働いていたこの会社を選びました。

Q 仕事の内容と感想を教えてください

A 測量や橋梁点検で現場に出るほか、上下水道の配管設計で図面の修正や報告書のチェック、製本作業を行っています。これからは設計業務に携わることになるので、様々な知識が必要になるとい

ました。今後はもっと勉強して、知識を深め技術力を向上させたいと思います。

Q 将来どのような社員になりたいですか

A 入社したばかりで将来のビジョンがなかなか定まりません。ですが、右も左も分からないことだらけの私に分かり易く指導してくださる仕事の皆さんのように、業務内容をしっかり後輩に教えることができる社員になることが今の私の目標です。フレッシュさんと言われるのも今のうちだけですので、そこを取り柄に明るく働いていこうと思います。

○上司の方から一言

【木村グループリーダー】 今後は様々な分野の業務に携わることになると思いますが、幅広く知識を習得し、外業・内業とも活躍することを期待しています。



興建エンジニアリング(株)

技術部門

瀧田 里駆 (19)

Q この会社を選んだ理由は？

A 高校の頃から測量や設計を勉強していたので、その知識をさらに伸ばしていきたいと考えました。また、測量業務、建設コンサルタント業務、補償コンサルタント業務があるので幅広く仕事ができるのではないかと考えたのが理由です。

Q 仕事の内容と感想を教えてください

A 建設コンサルタント業務でため池や農業用排水路・高速道路（日治道）の函渠工の配筋図の作図や構造計算を行っています。覚

えなければいけないことがまだまだたくさんあるので、分からない事があればすぐ聞いて自分のものにしていきたいです。

Q 将来どのような社員になりたいですか

A 会社では資格の取得を推奨しているので、これからたくさん経験を積んで資格を取得し、様々な仕事に対応していきたいと思っています。

○上司の方から一言

農業高校環境土木科を卒業し、平成29年4月に入社しました。入社試験（作文）において建設コンサルタント等についてどう思っているか聞きましたが、新規就労者不足や高齢化の課題を捉えており、そのためドローンやICTの活用が必要との認識を持っていました。業務については先輩、上司の指示を真摯に聞き取り、適切に対応していて好感が持てます。今後とも会社の貴重な戦力として積極的に頑張ってくれる事を期待しています。



新和設計(株)

第二事業部 調査一課

近 開 登 (19)

Q この会社を選んだ理由は？

A 私が高校在学時、インターンシップで弊社の現在所属している部署に職場体験をさせて頂きました。この時の体験がきっかけとなり、この会社を選びました。

Q 仕事の内容と感想を教えてください

A 仕事の内容と感想：私の所属している部署の主な仕事内容は、土工構築物や建築構築物の地質調査です。その他に観測業務、砂防施設等の点検業務、さく井工事等、様々な業務に携わっております。地すべり災害の現場では大雨が降ったり、地震が起こった際、

休日であっても出勤しなければなりません。又、簡易動的コーン貫入試験等の原位置試験を崖や急斜面で行うこともあります。これらを踏まえると「身体的な疲労や危険が伴い大変」という感想が全面的に出てきますが、様々な経験が出来、技術者としての未来に役立つと捉えております。

Q 将来どのような社員になりたいですか

A コンスタントに経験を積み、一つ一つの業務で技術的に思索し、自分の見解をしっかりと見いだせる技術者になれるように努力します。また、業務を通して技術者としての知識を深め、建設系では最難関となる技術士の資格取得を目指します。

○上司の方から一言

この一年間で、多様な地質調査の現場で経験を少しずつ積み重ね、着実に技術者として成長しています。まだまだ半人前ですが、基本に忠実に業務を行い、責任感のある信頼される技術者を目指してほしいと思います。



新卒者採用動向 (会員社アンケート結果より)

現況把握として

- ・平成30年4月に採用した会員は32社、81名（計画115名に対し充足率70%）
- ・昨年と比べ新卒採用20名増え、女性技術者が9名から19名に躍進している
- ・総じて採用実績は前年度比でプラス傾向で来年度採用計画も142名と旺盛

採用計画とのギャップを埋めるにあたり、今後協会として取り組む施策として

- ・地道なPR（親を含む世間、学校関係、学生）の継続
- ・離職率の把握

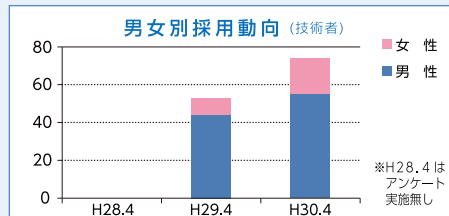
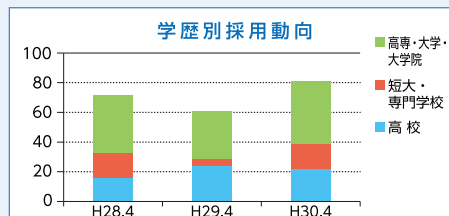
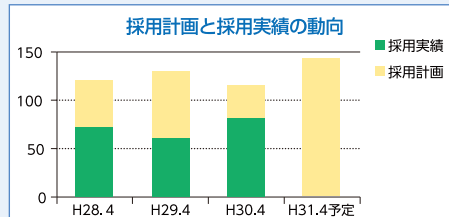
各会員が取り組む施策として

- ・更なる労働環境の改善
- ・若手人材育成体制の強化（中堅層の育成ノウハウ）

編集後記

5月の役員改選を受け、会長をはじめ新体制でスタートしました。また6月末をもってこれまで事務局長としてご尽力された白川貴教様が退職されます。東日本大震災をはじめ様々な活動、本当にお疲れ様でした。後任には岩村毅様が就任され、東測協は変化を恐れることなく新しい活動をスタートして参ります。

企画委員長 鶴沼 順之



役員名簿

会長	佐藤 和昭
	(株)キタコン
副会長	遠藤 敏雄
	(株)復建技術コンサルタント
副会長	菊池 透
	(株)菊池技研コンサルタント
総務委員長	田村 道雄
	(株)田村測量設計事務所
企画委員長	鶴沼 順之
	(株)ウヌマ地域総研
技術委員長	海藤 剛
	(株)双葉建設コンサルタント
補償業務委員長	阿部 忠宏
	(株)東日本エンジニアリング

理事	山内 一晃
	エイコウコンサルタンツ(株)
理事	土門 高大
	東北エンジニアリング(株)
理事	尋田 一男
	佐野コンサルタンツ(株)
理事	石塚 三雄
	東邦技術(株)
理事	伊藤 清郷
	陸奥テックコンサルタント(株)
監事	庄子 満
	(株)光生エンジニアリング
監事	伊藤 篤
	新和設計(株)



お問合せは

一般社団法人 東北測量設計協会

〒980-0014

宮城県仙台市青葉区本町3丁目6-17

TEL.022-263-0922 FAX.022-263-1744

E-mail info@tospa.org

公式HP <http://tospa.org/>



Access Map



平成30年7月発行

